

11月11日は介護の日

支え合って自分らしく暮らせる社会を

「大都市・東京の介護と暮らしを守る都民フォーラム」開催!

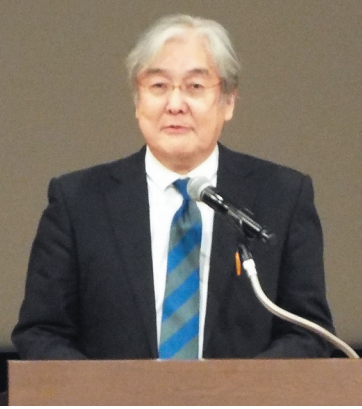


医療・介護・福祉のシゴトとサービス

10月16日、千代田区のイノホールにて東京都高齢者福祉施設協議会(高齢協)主催による「大都市・東京の介護と暮らしを守る都民フォーラム」を開催しました。本特集ではフォーラムの様子をお届けいたします。

主催 東京都高齢者福祉施設協議会

ごあいさつ



東京都 高齢者福祉施設協議会 会長 にしおか おさむ 西岡 修

高齢協の都民フォーラムは、東京の高齢者福祉や今後の課題、具体的な活動について都民の皆さまにお伝えすべく、2007年より開催しています。近年、東京の介護は危機的な状況にあり、その最大の要因は担い手である介護職員不足にあります。福祉の仕事に重労働、低賃金といったマイナスイメージをもたれていることが原因です。この状況を改善すべく、高齢協では大都市東京における介護の担い手、地域包括ケアの担い手として、都民の皆さまへのお約束を7つの宣言として取りまとめた「アクティブ福祉 GRAND デザイン2017」を定めました。宣言に沿って高齢協は多くの行動を起こしています。このフォーラムを、高齢協がよりよい福祉の実現を通じて、本場の意味で都民の皆さまに安心をお届けするための出発点としてまいります。

宣言 東京の高齢者福祉施設は行動しています ●アクティブ福祉 GRAND デザイン2017●

- 1 私たちは、質の高い高齢者福祉・介護サービスを提供します**
増加傾向にある認知症高齢者への対応として、認知症を理解し手助けを行う「認知症サポーター」の養成講座の実施や、施設主体でセンターを設立し本人やご家族からの相談受け付けを行っています。また、最期までその人らしい生活ができるよりよい看取りのため、医療ケアを提供し、研修を通じて理念、死生観、起こりうる変化と対応、家族支援などを学び専門性と連携力を高めています。
- 2 私たちは、地域が求める高齢者福祉・介護サービスをつくり出す**
地域密着型施設では、施設内で行政と合同で検討したプログラムによる子育てサロンや、認知症カフェを運営しています。また、施設外に設置した地域交流拠点を、地域の方の協力を得て陶芸教室や介護予防の勉強会、憩いの場として活用するなどしています。
- 3 私たちは、さまざまな課題を抱える高齢者の暮らしを守ります**
介護にとどまらず、虐待や経済困難などの生活に困難を抱える方へ、養護老人ホームや軽費老人ホームが支援しています。孤立する高齢者の支援のための、栄養相談や地域交流を行える場としての昼食会なども実施しています。
- 4 私たちは、生活困窮者支援などの地域公益活動をすすめます**
地域に寄り添うためのイベントや交流会を各地で一斉に行う「つながれひろがり ちいきの輪 in Tokyo」を実施し、131事業所でおよそ4万人の方々に参加いただいています。また、子どもの福祉の向上のために、施設にて子どもと高齢者との交流、学生ボランティアによる宿題や遊びの支援、共働き世帯での子どもの孤食対策としての夕食会などを行っています。
- 5 私たちは、地域の防災拠点としての役割を果たします**
福祉避難所や、災害時に必要な設備や物資の整備などに取り組んでいます。地域の方々の合同防災訓練を通じた顔の見える関係づくり、東日本大震災や熊本地震などでの被災地への職員派遣なども行っています。
- 6 私たちは、高齢者福祉を担う人材の確保を進めます**
若手介護職員によるユニット「東京ケアリーダーズ」を結成し、介護の仕事の魅力を発信しています。働きやすい職場環境を実現するための施設内保育所の設置や、外国人材の受け入れのために言語、生活、仕事、勉強などのサポートを行っています。
- 7 私たちは、地域に貢献する福祉人材を育てます**
多様化、複雑化する福祉や介護のニーズに対し高い専門性で応えるために、高齢協ではさまざまな研修を実施し、継続的に学ぶ機会を確保しています。また、未経験者の採用を促進し、介護経験がなくても続けられるよう教育制度を整えています。



地域の子どもたちとの交流食事会



アニマルセラピーによる認知症ケア

シンポジウム

シンポジウムでは、介護人材不足をはじめとする業界の課題やその改善点、今後の介護を明るくするための方策などについて、国会議員の方々に議論をさせていただきました。

●不足する介護人材

菅原 全国650万人の要介護者のうち東京には60万人、介護従事者は全国190万人のうち東京には20万人がいるといわれており、深刻な人材不足など東京の介護は極めて困難な状況に直面しています。また、高い物価や家賃を考慮すると、相対的に東京の介護職の給与は低いという問題もあります。

高木 人材不足対策には、多様な人材の確保と育成、努力や資格に応じた専門性向上などが重要です。そのため高い技能をもつ方の給与向上のための予算確保に動いています。また、東京都では入門研修からマッチングまでの一体的支援事業、若年世代およびアクティブシニアの参入促進事業、介護福祉士の国家資格取得を目指す外国人留学生の受け入れ環境整備事業などの策を打ち出しています。

初鹿 東京では働く場が多く、求人が多いため、時給のよいところに人が流れがちです。そのため介護事業者は給与をあげる努力をしますが、結果、経営は難しくなります。派遣に頼ることも問題で、介護報酬の利益が派遣会社へ流れ、本来の人員費が削られています。若い職員が、魅力ある職場であることを世間にPRしていくことが人材不足対策に重要と考えます。

田村 介護保険が2000年にスタートして以来、介護報酬はマイナス改定がほぼ続いています。同期間には東京都の最低賃金は時間額703円から985円へ上昇しました。介護報酬がこの変化と見合っているか考える必要があります。夜勤の負担を軽減するための制度の見直しも必要です。専門性の評価や、直接雇用、正規職員化の推進も求めする必要があります。

田中 人材不足の深刻さに共通認識をいただき感謝します。派遣職員や無資格者、未経験者を受け入れざるを得ず、量も質も足りていない状況です。超党派での対策をぜひお願いします。



自由民主党 衆議院議員 すがわら いっしゅう 菅原 一秀
公明党 衆議院議員 たかぎ みちよ 高木 美智代



立憲民主党 衆議院議員 はつしか あきひろ 初鹿 明博
日本共産党 参議院議員 たむら ともこ 田村 智子

●介護職の給与引き上げへ

田中 人材不足対策のため、政府では予算を拡充し、勤続10年以上の介護職員に月額8万円を充当する処遇改善加算(給与改善策)が審議されています。

田村 現在は介護職員だけでなく他職種従事者にもこの加算を充てられるよう検討を行っており、本フォーラムが政府を動かすことにつながっていると心強く感じます。施設の経営も厳しい状況ですので、その対策も考えなければなりません。

初鹿 1法人で1事業所を運営する施設では、資格取得や研修によりスキルアップしても、ポストがなくキャリアを積むことが難しいことがあります。そのため、転職もしばしばあり、10年間同じ施設で勤務している方は少ない状況です。加算もよいですが、根本的な介護報酬の引き上げが必要です。

●持続可能な社会のために

菅原 介護保険制度がはじめて18年が経ち、介護は事業者が行うものという認識が浸透してきています。しかしながら、事業者にまかせきりにするのではなく、日本に古くからある助け合いの精神で、できることは自分たちでも行うことが大切です。

高木 地域に関わらずだれでも良質な医療、介護が受けられる社会保障を維持することが重要です。そのため、地域にしっかり議論してまいります。最も大切なのは介護予防をさらに推進し、健康寿命の延伸、生産性の向上につなげることです。生活習慣病予防、フレイル対策を軸としたパッケージを充実させていきます。

田中 東京の介護を守るには多様性と実効性のある施策が必要ですが、今日は各党から力強いエール、貴重なご意見をいただきました。ぜひ先生方には、介護業界を元気にする制度、政策の整備をお願いいたします。本日はありがとうございました。



本日紹介しきれなかったフォーラムの様子は高齢協のホームページに掲載予定です。

コーディネーター 東京都高齢者福祉施設協議会副会長 たなか まさえ 田中 雅英



2018年9月28日開催 第13回 高齢者福祉 実践・研究大会 「アクティブ福祉 in 東京'18」

高齢者福祉施設・事業所で働く職員が、介護現場での実践・研究を学会形式で発表する大会です。特に優秀と評価された発表の内容と施設名をご紹介します。

最優秀賞: 居宅ケアマネジャーのアンケートから見る在宅生活の困難化の分岐点についての考察と居宅ケアマネジャーのできること

優秀賞: 居宅ケアマネジャーが行う、8050問題への取り組みと対応について

日本介護福祉士養成施設協会会長賞: 緊急ショートステイを受け入れ続けることに見えてきた在宅生活の課題

新時代の高齢者福祉デザイン賞: ボランティアを継続できるマネジメントの取り組みと社会参加の支援

発表テーマ	施設名	発表者
居宅ケアマネジャーのアンケートから見る在宅生活の困難化の分岐点についての考察と居宅ケアマネジャーのできること	高齢者在宅サービスセンター シャローム 南沢居宅介護支援事業所(社会福祉法人 三育ライフ)	楠美綾子さん/片岡純子さん
利用者・職員の負担軽減を目的とした移乗介助の見直し	吉祥寺ナーシングホーム(社会福祉法人 至誠学舎東京)	菊地恵康さん/遠水亮一さん
特養が主体的に企画し開催する就労フェアの意義とその成果について	博水の郷(社会福祉法人 大三島育徳会)	片桐恵子さん/佐藤朋巳さん
オーラルフレイルに備えた自力摂取利用者の食事支援	うきま幸福苑(社会福祉法人 こうほうえん)	須賀なごきさん/大上雪菜さん
利用者のニーズを引き出し、実現するための取り組み	ユアハウス弥生(株式会社 ケアワーク弥生)	岩瀬良子さん/木内美沙さん
ヘルパーの負担を特異に分類し、実務を通じて負担軽減に取り組んだ成果について	至誠キートンホームヘルプステーション(社会福祉法人 至誠学舎立川)	芳村光守さん/川田郁美さん
移乗ボードを導入しご利用者と職員の身体的、精神負担軽減につながった研究	ナイスケア世田谷介護センター(株式会社 ナイスケア)	水野明美さん
離職率42.5%から2.5%へ4年間の軌跡	やすらぎミラージュ(社会福祉法人 章佑会)	清水秋入さん/安西咲希さん
胃ろう栄養から経口摂取への支援専門職種として経口移行加算を取得するために	紫鷹園(社会福祉法人 愛寿会)	藤原真希さん/手川隆幸さん
歩行能力維持向上に対するリハビリテーションマシン導入とその結果	ウエルガーデン伊興園(社会福祉法人 ウエルガーデン)	野邊理恵さん/市川美緒さん
権利擁護向上委員会の活動(取り組み)報告	愛全園(社会福祉法人 同路互助会)	菊池秀樹さん/大村聖路さん
緊急ショートステイを受け入れ続けることに見えてきた在宅生活の課題	大田区立特別養護老人ホーム 梶谷(社会福祉協議会 池上長寿園)	山本恵さん/田村桃世さん
利用者が希望する排泄方法の実現に向けて指針に基づき取り組んだ結果、QOLが向上した事例	南陽園(社会福祉協議会 浴風会)	早川美波さん/友部貴弘さん
特別養護老人ホームにおける介護専門職を中心とした組織づくりとその効果について	台東区立特別養護老人ホーム3ノ輪(社会福祉法人 台東区社会福祉事業団)	種田寿実さん/石塚智輝さん
多職種と連携して行うリスクマネジメントに関する取り組み	祐ホーム(社会福祉法人 友愛十字架会)	加藤浩さん/高橋美紀さん
	第三南陽園(社会福祉法人 浴風会)	佐藤一城さん/中村敬さん
	聖母ホーム(社会福祉法人 聖母会)	近藤秋子さん

●ゲスト発表●

日本福祉教育専門学校(学校法人 敬心学園)

「外国人介護者の問題点と対策の考え」

東京福祉保育専門学校(学校法人 サンシャイン学園)

「実習事後学習および事例検討会の活用による実践力の向上および就職に向けての情報共有」

●東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。(会員数約1,200施設・事業所)

12月1日(土)トークイベント開催!

東京の介護って素晴らしい! 介護の仕事の魅力がいっぱい! 人が集まる施設のアイデアが見つかる!

東京の介護や高齢者福祉のこと、知っていますか? 「東京の介護の魅力って?」「どんなケアをしているの?」「介護やケアの仕事に興味がある!」介護の魅力を語ったり、介護に関するすてきな作品との出会いをおとして、あなたも東京の介護のすばらしさを感じてみませんか?

日時 平成30年12月1日(土)14時~16時30分
会場 飯田橋レインボービル 7階大会議室(JR線・地下鉄飯田橋駅)

参加申し込みはこちら